

研究会設立・運営方針

CO₂の回収・利活用に向けた研究会【第1回】

2025年6月27日

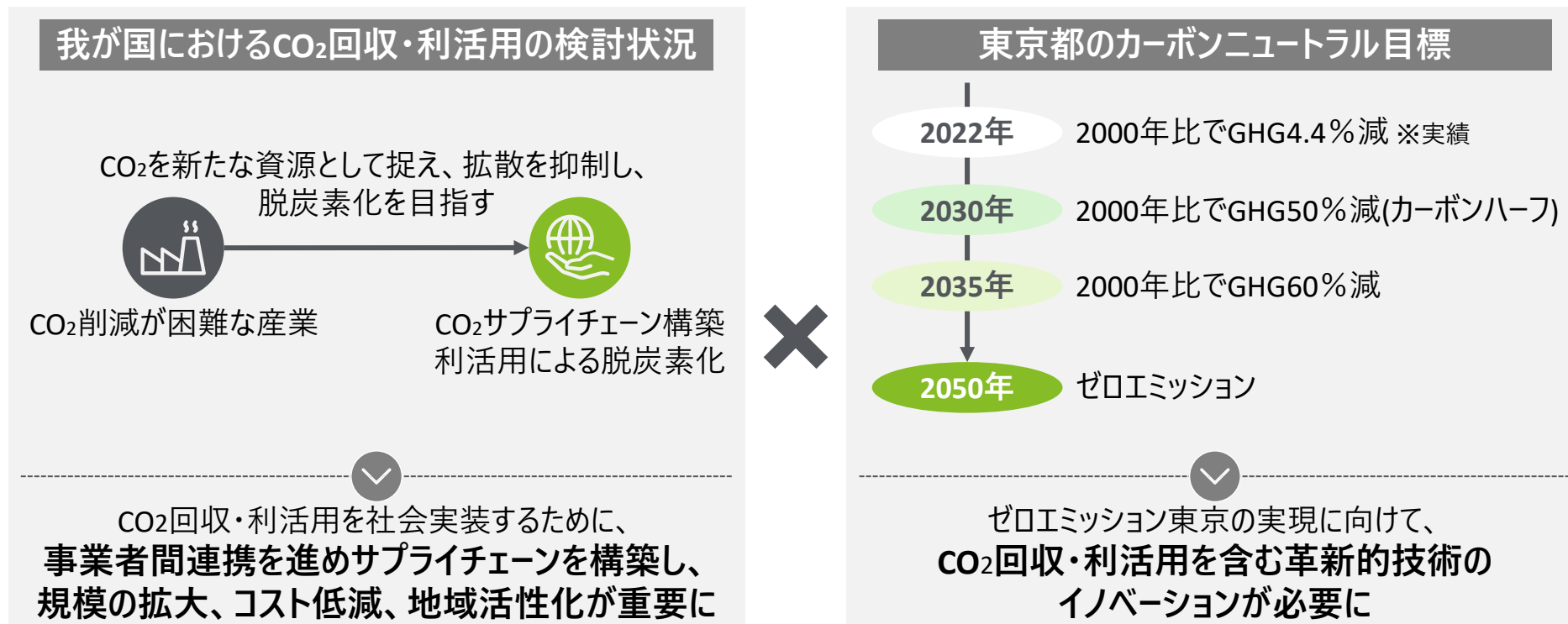
資料



「CO₂の回収・利活用に向けた研究会」の背景・目的

都の目標である、2030年カーボンハーフ・2050年ゼロエミッションを達成すべく、CO₂関連の事業者間で連携し、CO₂サプライチェーン構築を行うことが重要になる

CO₂サプライチェーン構築の背景と意義



東京都でのCO₂サプライチェーン構築意義

脱炭素社会を実現にあたり必要不可欠な技術と位置づけられ、各事業者が連携し、都内での排出CO₂を回収し、有効活用するためのサプライチェーン構築が肝要

本研究会は、都内で排出されるCO₂を回収・利活用するサプライチェーンの構築を目的としており、参加事業者及び有識者からは、実効性を高めるためのご意見を頂戴したい

本研究会の概要と参加者への期待

本研究会の概要

- 2030年ごろ目途に、都内で排出されるCO₂を分離回収し、回収したCO₂を可能な限り利活用するサプライチェーン構築を目指す
- そのため、産業横断での連携に向けた課題・意見を集約し、実効性を高めるために、CO₂排出/回収設備/輸送/利用に係る事業者と有識者から構成された本研究会を設置する

参加者から頂きたいご意見



事業者

各事業者の技術・事業を踏まえ、他事業者・行政等と連携する際の課題感や必要となる支援制度に対するご意見

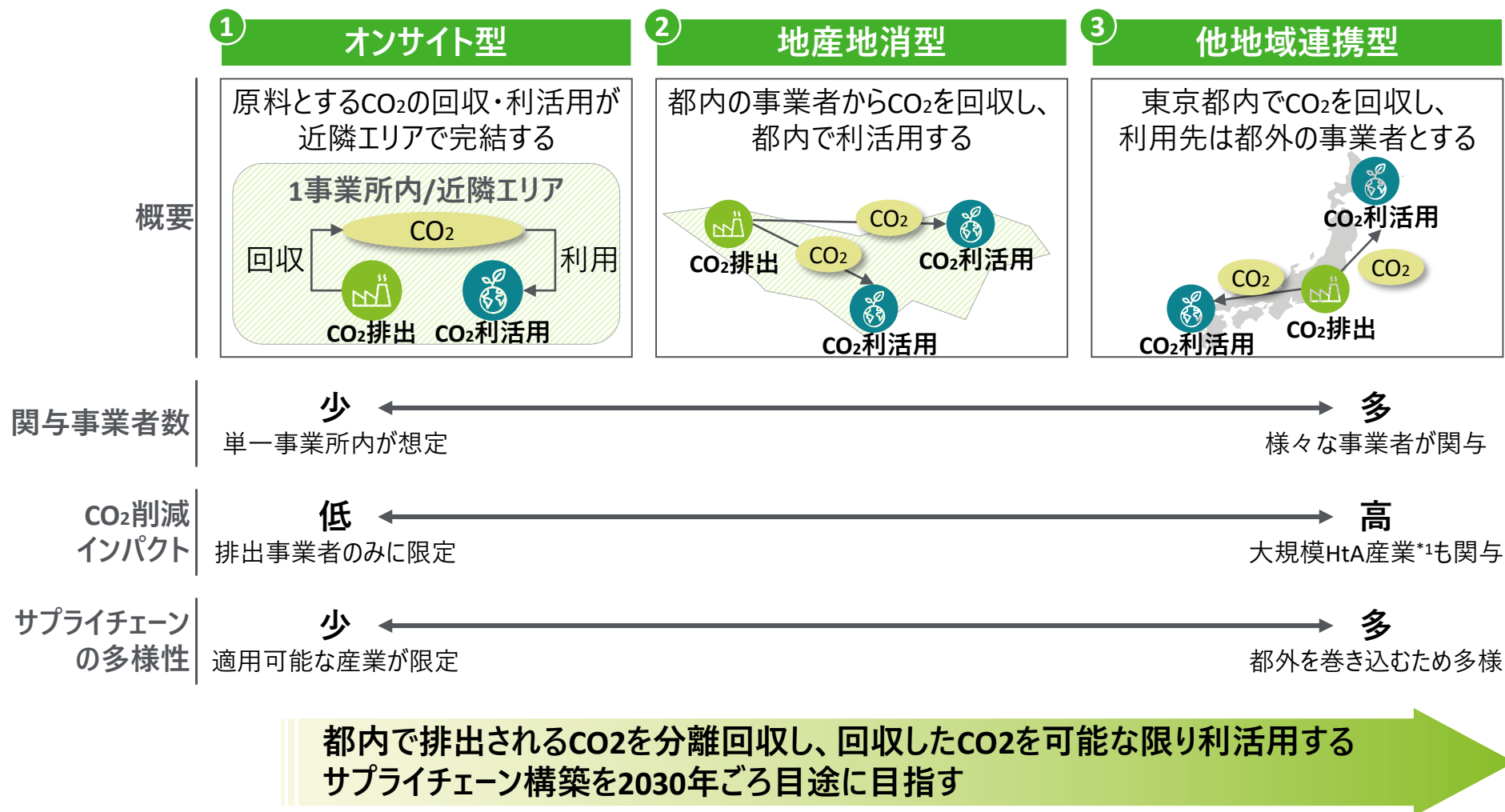
制度面・技術面・社会受容性など、
産官にはない第3者視点での様々な観点のご意見



有識者

オンサイトから、地域を跨いだCO₂回収・利活用の事業構築と、幅広く考えられると思料 本研究会で討議・論考する中で、複数事業者で連携したCO₂サプライチェーンの構築を検討

CO₂回収・利活用の類型化と将来像



*1：Hard-to-Abate産業（既存の技術ではCO₂の排出削減が困難な産業やエネルギー転換部門・産業）

CO₂関連産業の創出を目指し、 本年度はCO₂サプライチェーンの実効性を高めるための、在り方を検討する

東京都におけるCO₂サプライチェーンの検討ステップ

1. CO₂サプライチェーンの在り方検討

- 都内で排出されたCO₂を回収し、利活用するCO₂サプライチェーンの構築を目指し、実効性向上のための在り方を検討する

本年度スコープ

2. 実装化の後押し

- 構築されたCO₂サプライチェーンモデルに対し都が支援を行い、事業者の実装化を後押し

3. CO₂関連産業の創出

- CO₂サプライチェーン構築とスケール化
- CO₂由来製品を使用する需要側の認知と利用を目指す